

平成20年度 第2回花見川区地域福祉計画推進協議会議事要旨

日時 平成20年9月5日(金) 午後2時00分～午後3時30分

場所 花見川区役所2階講堂

出席委員数 23名

欠席委員数 7名

事務局 7名

【1】次第

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題(1)平成19年度地域福祉パイロット事業の報告について
 - (2)地域福祉の推進状況の把握について
 - (3)市地域福祉計画推進協議会の設置について
 - (4)地域福祉推進モデル事業の申請状況等について
 - (5)その他
- 4 閉会

【2】議事要旨

委員定数30名のうち、23名出席、7名欠席を確認し、開会した。

事務局司会の下、配付資料の確認を行い、議題に入る前に委員長から開会の挨拶があった。

議題(1)

平成19年度地域福祉パイロット事業の報告について

19年度実施されたパイロット事業の活動報告書の中から中央区1件、稲毛区1件、について事務局から事業紹介した。

中央区 西千葉地区部会

「緊急時、災害時一人暮らし老人、寝たきり老人見守り対策」

この事業は、病気などの緊急時や大地震等の災害時に支援を必要とする人を見守り、いざというときに適切な対応をするための資料として自己管理票というものを作成し配布するものである。

稲毛区 山王地区部会

「山王地区発、心のバリアフリープロジェクト」

この事業は、地区部会単独の事業ではなく、障害児・者とその家族を中心に、障害の有無や種別を超えた交流・啓発活動を行っている市民団体「ぐっぴいの会」とNPO法人千葉まちづくりサポートセンターと連携し、地域住民と障害者との交流・体験プログラムと意見交換会を実施したものである。

< 質疑応答 > なし

議題(2)

地域福祉の推進状況の把握について

保健福祉総務課から花見川区地域福祉計画の取組み状況調査【H20.9.5 現在】について、情報提供のあった17件の説明があった。次に報告した3名の委員から追加した事業の取組内容について説明があった。

< 質疑応答 >

委員：きさくな御用聞き広報・宣伝はどのようにしているのか。

委員：チラシ等はまだ行っていない。やっていきたいとは考えている。

委員：良い事業なので、どんどん地域に広げてもらいたい。

委員長：サロンに独居高齢者は出席しているか。

委員：独居は5、6名いる。サロンを通じて亡くなった方の情報も得ることができた。

副委員長：きさくな御用聞きは無料でサービスを受けられるのか。

委員：有料で行っている。30分単位で行っており、1時間1,500円だが、内容によって料金は変わる。

委員：季節の絵手紙は、施設では行っていないのか。

副委員長：今のところ自治会だけで行っている。65歳以上の高齢者が敬老会に顔を出している方に出している。

委員：花見川地区部会は活動メニューを広げて行っているが、新しく参加する方の比率はどの程度か。

副委員長：詳しいデータは取っていない。花見川地区部会には、19の自治会がある。自治会単位で行っているので、メニューが多くあるように見えるが、自治会単位にするとそれほど多くない。一つの自治会でたくさんのメニューを実施するようにしたいが、まだできていない。

委員：以前から公民館で行っていたふれあい食事サービスを、別会場でも実施することにしたが、新しい参加者が増えなかった。活動メニューを変えれば参加者が増えるかと思い質問した。

議題（３）

市地域福祉計画推進協議会の設置について

保健福祉総務課から市地域福祉計画推進協議会について資料に沿って説明があった。

< 質疑応答 > なし

議題（４）

地域福祉推進モデル事業の申請状況等について

保健福祉総務課から地域福祉推進モデル事業の申請状況について説明があった。

千葉市全体で２３団体の申請があった。花見川区は５団体。子育て支援、高齢者支援、防災に関する事業が多い。９月上旬に助成団体を決定、１０月から事業開始を予定している。

< 質疑応答 >

委員長：花見川区からの５件を紹介して欲しい。

保健福祉総務課：子育て支援、高齢者支援、生活支援や要援護者向けの防災組織立ち上げ等である。

委員：認知症の方を地域で見守れないか、地域で何かできないか等を今後考えていたい。花見川地区部会での取組みがあれば教えて欲しい。

副委員長：認知症への対策はどうやっていけばいいかわからない状況である。認知症にならないためにどう予防するかということに力を入れている。

委員：あいさつ運動などを通じて地域の人達が知り合いになっていく必要があるのではないか。

副委員長：民生委員が見守り活動している。民生委員だけでは見きれないところは周辺で見守っていつている。

委員：どこにどういう人達がいるのか、どこにニーズがあるのかは情報が集めにくい。地域包括支援センターやケアマネージャー達では介護保険でカバーできない

部分をどうするか常に探している。見守りは介護保険で対応できない。自治会とケアマネ、民生委員との交流ができればいいと思う。

委員：ボランティアセンターに要請すると適したボランティアグループが名乗り出してくれる。

委員：千葉県健康福祉部の認知症対策研究会に所属していた。県では認知症サポーター養成講座がある。認知症の方への接し方などを学べる。平成２０年度の健康福祉部の計画では、認知症家族への支援を重点的にやっていこうという施策もたてられている。病院への付き添い、家事援助などＮＰＯでも有料でやっている。しかし、利用者が利用したい金額とＮＰＯ側の必要としている金額に差がある。市からの助成で埋められないか。

委員長：認知症への対応策はこの場では話しきれない。政府の対策がないと難しいのではないか。

議題（５）

その他

事務局から次回以降の推進協の開催日程について協議した。事務局の出した案で満場一致で可決した。

最後に区推進協だより第５号を１０月中には郵送できるように編集中と説明した。

最後に委員長から閉会挨拶をし、午後３時３０分花見川区地域福祉計画推進協議会は閉会した。